
日本科学哲学会

第37回(2004年)大会

期日：10月2日(土)・3日(日)

場所：京都大学・吉田キャンパス

京都市左京区吉田本町

交通案内：JR/近鉄・京都駅より市バス206/17系統で「百万遍」下車

プログラム

10月2日(土)

研究発表

《A会場》(9:15~12:15) 司会者1-3:伊藤 邦武(京都大学) 4-6:西山 佑司(慶応大学)

1. 中山 康雄(大阪大学) 複数言語による世界の記述
2. 水本 正晴(日本学術振興会) 直説法的(indicative)必然性としての知識、あるいは1962年の勇み足
3. 岩沢 宏和(都立大学) 議論における不一致の構造—誤解とは何か—
4. 三好 潤一郎(日本学術振興会) 言語行為と会話ゲーム
5. 小山 虎(日本学術振興会) 二つの四次元主義
6. 安本 英奈(大阪大学)・中山 康雄(大阪大学) 発話内的力とは何なのか

《B会場》(9:15~12:15) 司会者1-3:中才 敏郎(大阪市立大学) 4-6:美濃 正(大阪市立大学)

1. 前田 高弘(日本学術振興会) 表象としての経験
2. 青山 拓央(千葉大学) 自由意志の非実在性
3. 壁谷 彰慶(千葉大学) 行為者因果説はいかなる自由を確保するのか
4. 金杉 武司(日本学術振興会) 自己知と合理性
5. 小島 明彦(専修大学) 自己知に対する態度
6. 笠木 雅史(関西学院大学) 文脈主義と懐疑論

《C会場》(9:15~12:15) 司会者1-3:伊勢田哲治(名古屋大学) 4-6:清水 義夫(千葉工業大学)

1. 松本 俊吉(東海大学) 自然選択の階層性、創発性、節約の原理
2. 伊藤 孝(日本大学) カール・Rポパーの反証主義
3. 鈴木 聡(駒澤大学) ダッチ・ブック定理の証明および条件付けに対するダッチ・ブック定理の証明における隠れた前提について
4. 佐野 勝彦(京都大学) 正規様相の二様相への分割
5. 太田 宏平(都立大学) 型判断と現実態
6. 竹内 泉(東邦大学) 証言の論理—伝聞を表す様相論理—

理事会・評議員会・大会実行委員会 (12:15~13:30)

総会 (13:30~14:00)

特別講演 (14:00~15:00)

講演者：西田 利貞(京都大学名誉教授,日本モンキーセンター所長)
講演題目：人間性の起源を求めて—野生チンパンジーの生態
司会者：内井 惣七(京都大学)

シンポジウム (15:15~17:45)

「フレーゲーその歴史的位置付けと展開」

提題者：佐藤 雅彦(京都大学)、三平 正明(専修大学)、松阪 陽一(都立大学)
司会者：野本 和幸(創価大学)

懇親会 (18:00~20:00) 会費：5,000円 会場：京大正門横「カンフォーラ」